店・品・技・人

ファイル16

プロフィール
佐々木（ささき）　進（すすむ）
昭和19年3月19日生まれ
役　職：代表取締役
特　技：ものづくり
趣　味：油絵、散策
出身地：横手市

株式会社
アートピアササキ
横手市卸町9-4
TEL.33-1338　FAX.32-1410
E-mail:artpia-sasaki@poppy.ocn.ne.jp

桜の花も散り、新緑が眩しい季節になりました。五月晴れのさわやかな日に訪れたのは、「(株)アートピアササキ」さんです。看板業も昔と今では作業形態が大分違ってきたといいますが、社長さんの持って生まれた感性は誰にでも真似できるものではないようです。

事務所入口前の倉庫には、大小の看板がところ狭しと積まれてありました。事務所を訪ねると、奥に通されてびっくり！そこは社長室兼アトリエ…？

おじゃましします。入るや否や、目に飛び込んできた数枚の絵画！絵の事は後ほど改めて伺うことにして…。

社長さんが看板業を始められたきっかけは、やっぱり絵を描くのが好きだったからですか。

確かに、小さい頃から絵を描いたりするのは好きでしたね。だからという訳ではないけど、当時就職者と進学者が半々ぐらいの時代で、自分は就職する道を選び「横手工芸社」さんで七年間修行し、二十三歳の時に独立しました。

独立した時は一人で仕事をされていたんですか。

そうですね。最初は寿町の踏み切りのそばに事業所を構え、ひとりでやっていました。そこへ女房が事務員として入ってきたんです。その当時は、書いた看板をリヤカーに乗せて依頼主まで二人で運んだものです。仕事もあまりに忙しすぎて、とても大変だった記憶があります。

▲社長室兼アトリエ

なるほど！奥さんは事務員さんだったんですね。その事務員さんを社長さんはゲットしちゃったんですね（笑！）

（奥さん談）まだ私が勤める前に、あるお店のシャッターにとても素敵な絵が描かれてあったんですよ。「こんな素敵な絵を描く人はどんな人だろう?」って思っていたら、主人だったんです。

▲愛用の画材

まー、それは運命的じゃありませんか?

では、お二人はその時から二人三脚でがんばってこられたんですね。

そうですね。事務所は仕事の内容や規模を理由に、三回ほど移りましたが、卸団地に移って来てからはもう十三年になります。創業してからは四十一年になるから、もうちょっとで半世紀ということになりますね。看板の取り付けも今では若い従業員達にほとんど任せています。

今日も市役所前の標識の取り付け作業をしているはずですよ。

標識の取り付け作業もするんですか。看板を書くだけではないんですね。

そうですね。何でもやりますよ。描くだけではなく、依頼された仕事はなるべく外注に出さずに、足場を作る大工仕事から、板金、塗装と…。全部自社でできたから、ここまでやってこれたと思っています。

私達が思っていた看板業とはだいぶ違うんですね。平面だけではなく、立体の物も作られるんですね。

チャンネル文字といって、壁面に取り付ける看板も作ります。最近では「平鹿総合病院」の看板も自社で手掛けました。一文字が一メートル六十五センチあるんだけど、離れてみればそんなに大きく見えないね。

他には…?

男鹿のなまはげのモニュメントも作りましたよ。

（写真を見せてくれました。）

これは全部手で彫ったんですか。かなり大きいようですけど、大変だったのでは?

自分の頭に描いた「なまはげ」を図面に描いて、その図面をもとにパーツごとに作って、後で貼り付けるという作業なので、そんなに難しい作業ではありませんよ。

もはや「看板屋さん」なんて一口では言われないですね。社長さんの絵を描くのが趣味というのが納得できました。ところで、絵は展示会にも出品されたりするんですか。

横手の「真美会」に加入していて、春と秋の二回展示会に出品しますよ。春の展示会がまもなく開かれるので、今はそのために描いています。三点出品する予定です。

あちこちに画材を持って出掛けて、スケッチをされるんですか。

そうですね。どこに出掛けるにも、必ずスケッチブックを持ち歩いて描き留めたい風景等があればすぐに描いていますね。

二十分くらいでスケッチをして、写真も必ず撮ってきて、色は戻ってきてから塗ります。

でも、油絵を描き始めたのはまだ日が浅くて、最初は仏像作りから始めたんですよ。

えっ！仏像作りもされるんですか?彫刻も趣味とは…。まさか机もご自分で作られたんですか?

（社長室に置かれている四メートル近くもある机も社長さんの手作りのようです。）

自分で作った仏像に毎日手を合わせていますよ。絵でも何でも物づくりが好きなんですよ。

この間も、東京にいる孫が今年から中学に進学したので、手作りの机をプレゼントしたら、とっても喜んでくれましたよ。

お孫さんたちも幸せですね。

娘さんがモデルの油絵▶

▼娘さんが出版された本の数々

（奥さん談）今のところ、がんばっているようですね（笑）

器用なところは主人に似たんでしょう。仕事に関しては、お父さん以上にこだわりを持ってやっているみたいです。

ところで、奥さんは絵を描かれないんですか。

この人（奥さん）は絵は描かないけれども、料理や器が好きで、うちに来れば「割烹ささき」で結構見た目もきれいに、おいしい料理を出してくれるんですよ。（笑）

仕事も順調で、素敵な趣味をお持ちでいつも生き生きされている社長さんですが、今後の夢は何かありますか。

夢というか、仕事に関しては自分の持っている技術を出来るだけ今いる従業員に承継していくこと。後は健康で母さんを大事にすることだな！

ごちそう様です。

とても仲が良くて幸せを絵に描いたようなお二人。これからもずっと二人三脚でお幸せに！

▲これが20分で描いたとうスケッチ…!?